

より良い教育・施設をめざし

小林小と戸頭小を統合し小林小学校を建設

統合校は五十八年四月に開校

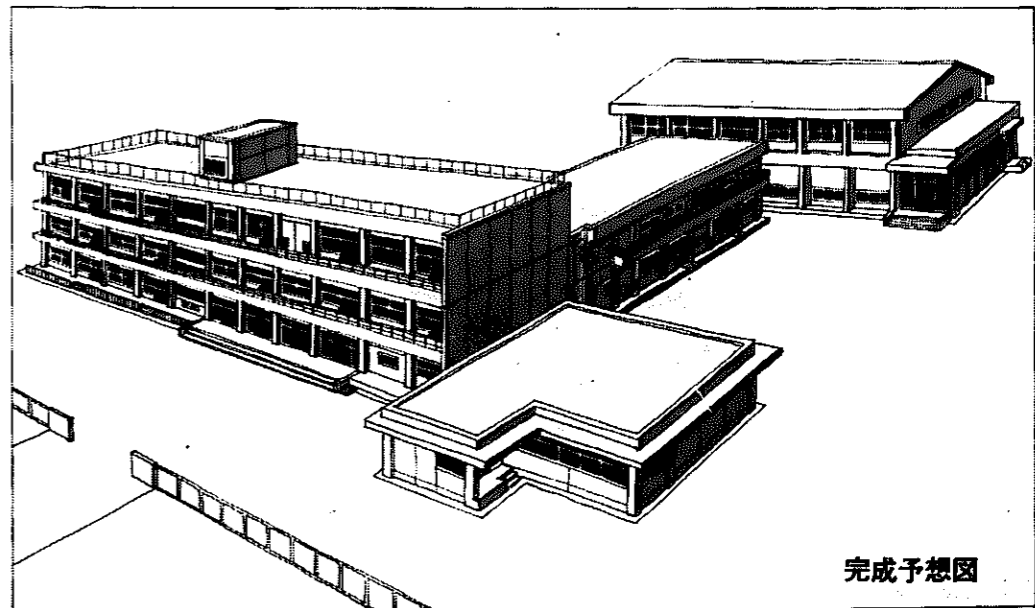
小林小と戸頭小の統合校—小林小学校の建設工事が二年連続事業でスタート。用地の造成は八月いっぱいまで終わり、工事は十月から始まり、この建設にかかる総事業費は八億一千四百四十七万円で、五十八年四月に開校の予定です。

明日の白根市をなう子供たちに行き届いた教育は、市の重点施策として進めています。そのため、教育内容の充実はもちろんのこと、施設の整備にも毎年、多くの予算を投入してきました。

市では学校教育について、総合計画の中で次のようにかかげています。「危険校舎の解消と全校鉄筋化の促進、屋外運動場の整備。また、小学校は旧行政区ごとに一校配置を基本とする」としています。したがって小林小学校と戸頭小学校の統合—校舎建設もこの総合計画にそって進められてきたものです。

小林小・戸頭小とも校舎が老朽化し、危険校舎に指定されています。また体育施設も狭く、戸頭小学校では毎日、学校の周辺を十分ランニングする業間運動を取り入れ、運動量の不足を補ってきています。

統合校舎は鉄筋コンクリート三階建てで、総事業費八億一千四百四十七万円で建設されます。今年度はすでに用地買収と造成工事は済み、このほか特別教室棟を建設。さらに来年度は管理・普通教室棟、食堂棟、体育館を建設し、五十八年四月に開校する予定です。



完成予想図

児童・父兄の声



鶴巻和子さん (戸頭小4年)

広いグラウンドで思いっきり運動を

この前、新しい小学校ができる用地を見ました。グラウンドがとても広く、戸頭神社を借りている今のグラウンドの何倍もの大きさに感じました。早く大きなグラウンドで、思いっきり走ってみたいです。

それに戸頭小学校の四年生は、女の子が私一人だけなので、小林小学校と一緒に女の子の友達もできるのが楽しみです。



徳永真理子さん (小林小4年)

食堂ができるのがとても楽しみです

新しい学校には食堂もできると、おじいちゃんから聞きました。みんな一緒に食堂で給食がとれるなんて、とても楽しみです。

今までの学校より、校舎も運動場も広くなるので、思いっきり勉強や運動にがんばります。それに戸頭小学校の人たちと一緒にいるので、早く仲良くし、友だちをたくさんつくりたいと思います。



高橋重夫さん (戸頭)

複式授業の解消で教育効果に期待

現在、戸頭小学校は三・四年、五・六年が複式で授業を行っています。統合により、この複式授業が解消されることがうれしいですね。その学年ごとの授業がきちんと受けられるわけだから……。

それに体育館やグラウンドも広くなるので、子供たちも思いっきり体を動かせることでしょう。でも歴史の長い学校が閉校になるのは寂しい気がしますね。



星野和彦さん (鍋湯)

通学問題は子供たちの立場で配慮を

統合により児童数も増え、一クラスの適正規模が図られることで、子供たちのいい意味での学習向上のための競争心が高まることでしょう。また、将来のことを考えて敷地を広くとつてあることはうれしいですね。

通学路の整備や通学バスなどの問題は、子供たちの立場にたつて配慮してほしいですね。

採択された請願

「驚き地域生活センターの建設」
現在の建物は狭く、農協と同一の建物であるため機能を発揮する上に、著しく制約されています。早急に新しい館を建設していただきたい」と、驚き地区の嘱託員から出されたものです。

「大郷地域生活センターの建設」
現在の建物は狭く、老朽化

ゆとりある学校生活をと工夫こらすモダンな校舎

- ### 新校舎のあらまし
- ▽敷地面積(運動広場含む) 二〇、五七二平方メートル
 - ▽延べ床面積 三、二四〇平方メートル
 - 校舎 二、一八八平方メートル
 - 食堂 二六六平方メートル
 - 体育館 八五六平方メートル
 - ▽グラウンド 一周二〇〇メートル
 - ▽総事業費 八億一、四四七万円
 - 校舎・食堂・体育館の工事費 五億〇、一七〇万円
 - 用地買収・補償費 二億〇、〇八二万円
 - 土地造成費など 九、三二五万円
 - 設計ほか諸費 一、八八〇万円

全体の配置や校舎・体育館などは、子供たちがゆとりある学校生活を送れるように、いろいろな工夫をこらした設計がされています。

グラウンド、体育館、プールなどの運動ゾーンを敷地内の北側と西側に、校舎棟を南側と東側に配置しました。この場合、校舎の影が周辺の農地に落ちない利点があります。また、校舎棟を三階建てにし、屋外グラウンドの敷地を広くとりました。

生活時間の最も長い普通教室職員室などは南向きに配置され児童や教職員の生活に快適さをもたせました。

体育館は内部の均一な採光を確保するため東西にとり、西日をしっかりと遮り、南あるいは北からの均一な光がとれるように設計されています。また、一般開放にも対応できるだけの広さをとりました。

全校児童と先生と一緒に給食できる食堂も設けられたのも大きな特徴です。

五十八年四月の開校時には、児童数は二百四十人と推定され六学級でスタートしますが、将来児童数の増加による学級増が考えられるため、六学級分の増築用地をとっています。

またプールは、五十八年度以降のできるだけ早い時期に造る計画です。

人権擁護委員に金子さんを再任

任期満了にともなう人権擁護委員に、金子達己さん(新飯田)が再任されました。金子さんの任期は三年です。

一般会計に二億四千万円を追加

五十六年度一般会計予算の歳入・歳出に、それぞれ二億四千二百七十万円を追加、予算総額は六十四億八千二百二十万円になりました。



9月定例会市議会

九月定例会市議会が九月二十五日から十月二日まで開かれ、人権擁護委員の推せんや一般会計補正予算など十議案を審議。ガス・水道事業会計決算認定の二議案は継続審査に、他の八議案は原案どおり同意、可決されました。主なものをお知らせします。

国の行政改革に関する意見書を可決

可決された意見書の内容は、「今回の第二次臨時行政調査会の答申では、財政再建を目的とした国の負担の軽減、地方への転嫁により社会福祉、文教などへのしわ寄せは必至です。本来、行政改革の目指すものは、行政事務と財源の再配分により、真に地方分権を確立するため長期的、抜本的な改革が行なわれるべきです。情勢を十分に認識し国民の合意を得られる措置を講

じられるよう要望します」というもので、この意見書は内閣総理大臣をはじめ関係大臣に送られます。

採択された請願

「驚き地域生活センターの建設」
現在の建物は狭く、農協と同一の建物であるため機能を発揮する上に、著しく制約されています。早急に新しい館を建設していただきたい」と、驚き地区の嘱託員から出されたものです。

「大郷地域生活センターの建設」
現在の建物は狭く、老朽化